

WHITE & CASE

プレスリリース

報道関係者各位

ホワイト&ケース、 東芝メモリホールディングスの借入金借り換え案件について主要銀行に助言

2019年6月20日、東京 ... グローバル・ローファームであるホワイト&ケース LLP（以下「ホワイト&ケース」）は本日、東芝メモリ株式会社（以下「東芝メモリ」）の持ち株会社である東芝メモリホールディングス株式会社（以下「東芝メモリホールディングス」）が株式会社三井住友銀行・株式会社三菱UFJ銀行・株式会社みずほ銀行と9,000億円の借入および1,000億円の追加融資枠を設定した案件について、マンデータード・リード・アレンジャー側に助言したことを公表しました。

ホワイト&ケース東京オフィスの同案件担当チームを率いた大西善哉パートナーは、「高い注目を集めている今回の資金調達案件において、ホワイト&ケースは主要な役割を果たしました。難しい市場環境の中で、この規模のファイナンスを、貸付人・借入人双方のニーズに応える形で実施することができました」と語りました。

ホワイト&ケースのバンキングおよびストラクチャリング部門のアジア太平洋地域統括である文宇軒（マン・ユジーン）は、次のように述べました。「今回の案件は、ホワイト&ケースにとって、アジア太平洋地域における複雑なレバレッジドファイナンス取引を代表する案件となりました。日本市場において、グローバルなプライベート・エクイティ（PE）ファンドの存在感が増し、また、ファンドの活用に対する企業の意識が定着する中、日本法のケイパビリティとグローバル市場への知見を融合した法律業務への対応力を示すことができました」

東芝メモリは2018年6月、米ベインキャピタルが主導する企業連合が設立した特別目的会社である株式会社 Pangea に買収されました。東芝メモリホールディングスでは、今回の調達した資金をもとに、東芝メモリ

を買収した際の株式会社三井住友銀行・株式会社三菱UFJ銀行・株式会社みずほ銀行からの借入金 6,000 億円の借り換えおよび既存の非転換社債型優先株式の早期償還を行いました。

ホワイト&ケースでは、東京オフィスのパートナーである大西善哉が率いるチームが同案件を担当しました。東京オフィスのアソシエイトである川波佳子と薄田知之も同案件担当チームに参加しました。

ホワイト&ケースについて

ホワイト&ケースは、世界 30 カ国 44 拠点を擁する国際的な法律事務所です。米国系法律事務所として早くから国際化を果たし、国境を越えた経済活動において求められるすべての法域に関して助言を提供しています。世界各地に所在する拠点を統合したグローバルネットワークの提供する価値と、各地域に米国法、英国法および現地法の弁護士等を擁する体制に基づく国際的業務への対応力に対し、クライアントから高い評価を得ており、複雑な国際取引案件や仲裁・訴訟の代理業務などで助言を提供しています。

問い合わせ先

ホワイト&ケース外国法事務弁護士事務所

ホワイト&ケース法律事務所

(外国法共同事業)

土田美由紀

電話：03 6384 3357

Eメール：miyuki.tsuchida@whitecase.com